

放射線科

診療科の紹介

当科は現在放射線診断専門医2名で画像診断とIVR(インターベンショナルラジオロジー)を中心に診療を行なっています。

取り扱う主な疾患

- 画像診断の対象となる疾患一般…腫瘍性疾患、炎症性疾患、先天性疾患、外傷など
- 肝細胞癌を始めとした悪性腫瘍に対する化学動注塞栓療法
- 乳癌など悪性腫瘍に対する画像ガイド下針生検

当科の特徴

画像診断は、CT検査、MRI検査、RI検査、マンモグラフィなどを行なっています。CT検査では、高速ヘリカルスキャンにより鮮明で詳細な画像が得られます。またワークステーションにより冠動脈や腎動脈の狭窄、脳動脈瘤や大動脈瘤、骨折等の3D画像を容易に得ることが出来ます。RI検査では、SPECT画像を、MRI検査では、MR angio画像を得ることが出来ます。CT、MRI、RIに関しては予約制で、他院からの依頼も受けています。

IVRは血管系では一般的なTAEやPTAから比較的稀なB-RTO、リザーバー留置術まで、非血管系では、PTGBD、PTCDや膿瘍ドレナージ、生検、胆道ステント挿入等を施行しています。

令和4年度 診療実績

CT読影件数	9,954件
MRI読影件数	3,042件
RI読影件数	200件
IVR (当科単独施行件数)	21件

スタッフ紹介



放射線科主任部長
今福 義博
いまふく よしひろ



放射線科部長
神崎 修一
こうざき しゅういち